

R7_6年_カリキュラム評価アンケート結果報告

実施日：2025/8/2、OSCE後

対象者：全104名（回答数104名、回答率100%）

実施方法：OSCE後に用紙を配布、その場で回収

カリキュラムについて

現時点でカリキュラムを総合的にみて満足のいくものでしたか。（n=104）



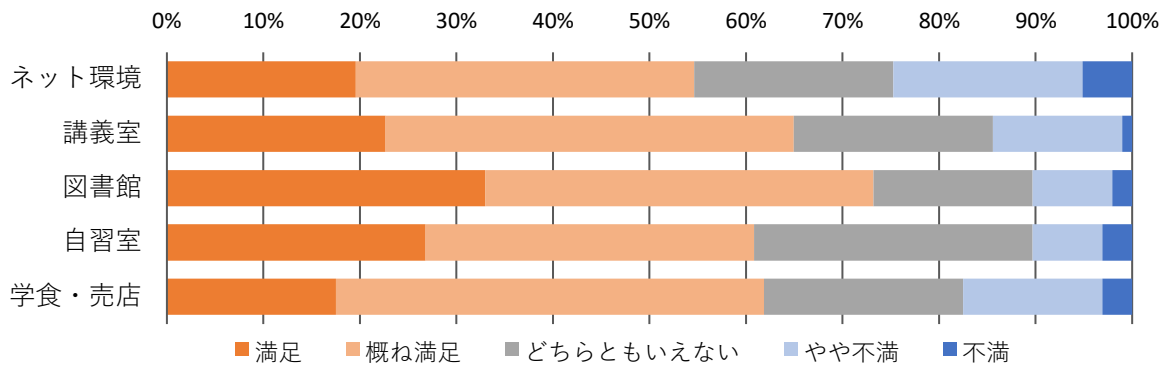
2025_卒業時学生生活満足度調査【施設・支援】

実施日：2025/11/13～2026/1/12

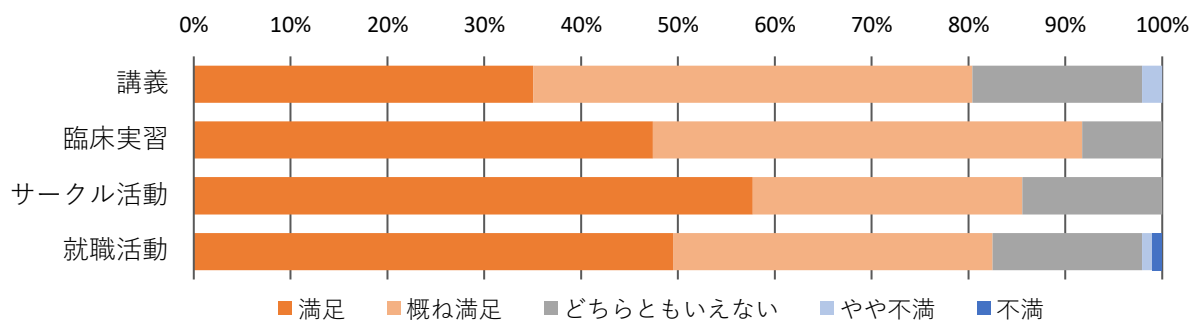
対象者：今年度卒業予定6年生103名、回答者97名、回答率94.2%

実施方法：Googleフォームのリンクをメール送信（卒業後の進路調査と併せて実施）

信州大学の施設・設備について



信州大学の学生生活・学生支援について



2025_卒業時_コンピテンシー到達度

実施日： 2025/8/2、OSCE後
 対象者： 104名（回答数104名、回答率100.0%）
 実施方法： OSCE後に用紙を配布、その場で回収

現時点での自身の達成度を5段階で評価 ■ そう思う/■ まあそう思う/■ どちらともいえない/■ あまりそう思わない/■ そう思わない

100%積み上げ棒グラフ

		100%積み上げ棒グラフ
医学・医療における倫理性	人間の尊厳と生命の不可侵性に関して尊重の念を示す。	
	患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。	
	倫理的ジレンマの存在を認識する。	
	利益相反の存在を認識する。	
	診療、研究、教育に必要な透明性確保と不正行為の防止を認識する。	
医学知識と問題対応能力	必要な課題を発見し、重要性・必要性に照らし、順位付けをし、解決にあたり、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な方法を見出すことができる。	
	適切な自己評価と改善のための方策を立てることができる。	
	講義、教科書、検索情報などを統合し、自らの考えを示すことができる。	
	国際保健・医療に関する最新の知見や諸問題を説明できる。	
診療技能と患者ケア	必要最低限の病歴を聴取し、網羅的に系統立てて、身体診察を行うことができる。	
	基本的な臨床技能を理解し、適切な態度で診断治療を行うことができる。	
	問題志向型医療記録形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文章を作成できる。	
	緊急を要する病態、慢性疾患に関して説明ができる。	
コミュニケーション能力	適切な言葉遣い、態度、身だしなみで患者や家族に接する。	
	患者や家族にとっての情報を整理し、説明できる。	
	指導医とともに患者の主体的な意思決定を支援する。	
	患者や家族の主要なニーズを把握する。	
チーム医療の実践	チーム医療の意義を説明でき、(学生として) チームの一員として診療に参加できる。	
	自分の限界を認識し、他の医療従事者の援助を求めることができる。	
	チーム医療における医師の役割を説明できる。	
医療の質と安全管理	医療事故の防止において個人の注意、組織的なリスク管理の重要性を説明できる。	
	医療現場における報告・連絡・相談の重要性、医療文書の改ざんの違法性を説明できる。	
	医療安全管理体制の在り方、医療関連感染症の原因と防止に関して概説できる。	
社会における医療の実践	離島・へき地を含む地域社会における医療の状況、医師偏在の現状を概説できる。	
	医療計画及び地域医療構想、地域包括ケア、地域保健などを説明できる。	
	災害医療を説明できる。	
	地域医療に積極的に参加・貢献する。	

科学的探究	研究は医学・医療の発展や患者の権利の増進のために行われることを説明できる。	
	生命科学の講義、実習、患者や疾患の分析から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。	
	急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収の必要性を認識する。	
生涯にわたって共に学ぶ姿勢	同僚、後輩、医師以外の医療職から学ぶ姿勢を維持する。	
	医学および医療の最新動向（政策、薬剤耐性菌、ゲノム医療等を含む。）の重要性を認識する。	
信州に学び、患者と共に歩む姿勢	信州の多様な医療環境の共通点と独自性を説明できる。	
	それぞれの医療環境に求められる最適な医療について、患者と協働して考えることができる。	